



平成28年度 第4回 松山市下水道事業経営審議会

平成29年2月10日



【災害用マンホールトイレ設置訓練】



【松山市のマンホールカード】

平成28年度 第4回 松山市下水道事業経営審議会 次第

開 会

(部長挨拶)

議 事

持続可能な下水道事業経営について

- | | |
|-----------------------|-----|
| (1) 前回会議でいただいたご意見について | p.2 |
| (2) 答申(案)について | p.7 |
| (3) その他 | p.7 |

閉 会

(1) 前回会議でいただいたご意見 について

- 1) 公営企業局との組織統合**
- 2) 下水道使用料の徴収方法**
- 3) 人材育成の取組**
- 4) 広報活動**

1) 公営企業局との組織統合

◎組織統合のメリット・デメリット

主なメリット	主なデメリット
①市民サービスの向上 ②職員数の削減 ③業務の効率化 ④経費の削減 など	①事務量の増加 ②執務スペースの悪化 など

【中核市の状況】(H28.4.1現在)

7割程度(33市/47市)が組織統合している。

◎本市の取組

(1) H24～26年度に上下水道部局で検討 ⇒ **課題の抽出**

課題① 河川整備やがけ対策など一般会計の所管をどうするか

課題② 統合後の事務所スペース など

(2) H28～30年度にかけ、全庁的に組織のあり方を検討

2) 下水道使用料の徴収方法

◎毎月徴収(検針)について

※想定されるメリット

- ① 2か月徴収を毎月にするすることで、負担感の軽減が図れる。
- ② 漏水等の早期発見につながる。(毎月検針した場合)

※想定されるデメリット

- ① 口座振替手数料の経費が増加する。
- ② 料金徴収システムの改良費が必要になる。
- ③ 毎月検針をする場合は、検針員等の委託費が増加する。

◎本市の方針

現時点(現在の経営状況)での導入は難しい。

* 口座振替手数料等の経費が増加する。

* 約70億円の累積欠損金(赤字)がある経営状況

3) 人材育成の取組

ア) これまでの取組

イ) 新たな取組

ア)これまでの取組

【日本下水道事業団への研修】

コース名	研修概要と目的	H29.1月現在
計画設計コース	事業計画を検討するための演習・ディスカッションを行うことにより、実務能力の向上を目指す。	3名
経営コース	下水道使用料などについて基礎から理解し、講義や事例を学ぶ。	2名
実施設計コース	管渠、処理場などの基礎知識を得て、設計業務に携わることができる。	5名
維持管理コース	管渠、処理場などの仕組みを把握し、維持管理業務に役立つ知識を習得することができる。	2名
合 計		12名

【その他の外部研修】

【事務職の研修】 下水道事務職員養成講習会、下水道事業経営実務講習会、消費税研修 など
【技術職の研修】 下水道技術職員養成講習会、下水道技術セミナー、地震・津波対策勉強会 など

【再雇用・再任用制度の活用】

・長年の間、培われた**豊富な知識と貴重な経験に基づく知識・技術の引継ぎ**

イ) 新たな取組

【先進地の人材育成】

横浜市の取組

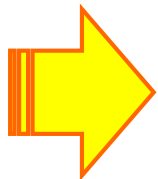
- ・ 退職者と現役職員との対話会
- ・ 職種毎に独自の人材育成
- ・ 外部講師によるより高度な専門知識の習得を目的とした研修

倉敷市の取組

- ・ 下水処理場への短期派遣
- ・ 伝えたいこと経験談と意見交換会
- ・ 下水道部独自で人材育成方針を策定
- ・ 技術講習会への参加

【本市の新たな取組】

- (仮称)技術継承講演会の開催
- 技術講習会への参加
- 下水処理場での現場研修
- 国が主催する勉強会(官民連携等)への参加
- 「類似中核市」等との 意見交換会を通じた人材育成



確実に、技術やノウハウを次世代へ継承します。

4) 広報活動①

【親子下水道教室】

日時及び場所・・・平成28年9月12日(土)、中央浄化センター

対象及び参加数・・・主に小学4年生以上の児童及びその保護者、21名

内 容・・・下水道の役割などの紹介ビデオ閲覧、簡単な実験、浄化センター見学 など



4) 広報活動②

【ホームページ改善活動】～女性職員によるプロジェクトチームの成果～

- ・事例別に「問い合わせ先」を**一覧化**
- ・掲載項目の**統廃合や並び替え**による情報の整理

【改善前】

マンホールの異常

下水道の整備
予定地区

下水道使用料
の支払方法

問い合わせ先が
各ページに分散
していた。



一
覧
化

【改善後】

お客様目線で、事例別に問い合わせ先を整理した。

お問い合わせ先一覧

更新日: 2016年11月1日

下水道及び河川に関する主なお問い合わせ先を掲載します。

市役所の開庁時間は、平日午前8時30分から午後5時までです。

お問い合わせ内容によっては、担当が異なる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

[下水道管が詰まったときは](#) [マンホールに異常がみられるときは](#) [水路から水があふれたときは](#)
[水路が損傷しているので補修してほしい](#) [住んでいる地域に下水道が整備されているかどうかを知りたい](#)
[いずれ下水道が整備されると聞いているが、いつになるのか知りたい](#) [私道内に公共下水道を整備したい](#)
[公共樹を設置してほしい](#) [下水道使用料の支払い方法\(口座の名義変更など\)について](#)
[井戸水の使用人数変更について](#) [下水道事業受益者負担金について](#)
[水洗便所改造資金の貸付について](#) [不要となった浄化槽を雨水貯留施設に改造する際の補助について](#)
[水路や河川などの清掃後の土砂処分について](#) [「法定外」水路に橋を架けたい](#)
[「準用河川」に橋を架けたい](#) [下水浄化センターを見学したい](#)
[下水道事業の経営状態\(借入金残高など\)を知りたい](#)

下水道管が詰まったときは

宅地外の排水設備が詰まった または 詰まった場所が不明な場合

下水道サービス課 管渠管理担当

電話: 089-948-6489 FAX: 089-934-1981

4) 広報活動③

マンホールカードの発行

下水道広報プラットフォームでは、全国各地でデザインの異なる「マンホールのふた」に着目し、その美しい写真とともに、ご当地情報などを紹介する「マンホールカード」を各自治体と共同制作しています。本市でも、この取組に参画し、平成28年12月から「**坂の上の雲ミュージアム**」で**無料配布(一人につき1枚)**しています。

○全国のマンホールカードの作成状況【イメージ】



デザインの由来



設置開始 1988年



ヤブツバキ



井桁文様

伊予かすり

法興6年(596年)、道後に来浴した聖徳太子は、椿が生い茂る温泉郷の壮観なさまを見て、これを称える言葉を書き残したと伝えられています。古くから松山の人びとに愛されてきた「椿＝ヤブツバキ」は、昭和47年、市の花に選定されました。本マンホール蓋のデザインは、赤や薄紅のヤブツバキを描き、花の周りには、日本三大絹(かすり)のひとつ「伊予かすり」の井桁文様をあしらっています。製作は市制百周年記念事業(1989年)の一環として進められ、1991年に意匠の一部を修正して今に至ります。松山市は歴史の深いまちで、小説『坂の上の雲』の舞台にもなっています。マンホール蓋とともに史跡めぐりなどもお楽しみください。

1612-00-001

坂の上の雲ミュージアム

©GKPマエプロ



【出典:公益社団法人 日本下水道協会】

4) 広報活動④

笑顔のまつやままちかど講座

【目的】 市民の皆さんと行政が理解と連携を深め、協力し合いながら、まちづくりを進めていくため、**市の職員が市民の皆さんが集う場にお伺いして**、市の取組などについて、**説明したうえで意見交換**を行います。

【対象】 おおむね**10人～30人**までの市民の集まり

コーナー名	テーマ	対話内容	所管課
水と環境	下水のリサイクル(下水道資源の有効活用)	松山市の下水道資源の有効活用への取組について説明します	下水浄化センター
生活と防災	土砂災害から、「命」、「家」を守るために	土砂災害からの身の守り方や助成制度について説明します	河川水路課
生活と防災	いざというとき、下水道の代わりってあるの？	東日本大震災の教訓を活かした本市の下水道整備について説明します	下水道サービス課
子ども版	はたらきものの下水道	じゃぐちからの水がどうなっていくか説明します	下水道サービス課

H28実施回数(参加数): **5回(105名)**

(2) 答申(案)について

- 1) 事務局による読上げ**
- 2) 答申(案)協議**
- 3) まとめ**

(3) その他

- 1) パブリックコメントの結果とそれに対する
本市の考え**
- 2) パブリシティの成果と今後の展開**
- 3) 今後の流れ(予定)**

1)パブリックコメントの結果とそれに対する 本市の考え

1 パブリックコメント

1-1 意見募集期間 平成29年1月5日(木)～平成29年2月3日(金)

1-2 意見提出状況

(1)提出者 2者(個人1名、1団体)

(2)提出意見数 **11件**(経営戦略8件、基本構想3件)

(3)提出された主な意見とそれに対する本市の考え方

	主な意見	意見に対する市の考え方
経営戦略	管渠と処理場の一括発注や官民連携などによる経営改善について	いずれの意見についても、経営戦略や基本構想に記載のとおり、今後、調査研究や検討を行います。
	効果的な人材育成や広域化・共同化・最適化について	
基本構想	下水汚泥や太陽光などの有効活用について	

※ 実施結果の詳細については松山市ホームページにて公表中

(<http://www.city.matsuyama.ehime.jp/kurashi/kurashi/gesuido/oshirase/index.html>)

2) パブリシティの成果と今後の展開

パブリシティの取組

- ・関係省庁(総務省や国土交通省)や関係団体を訪問し、意見交換を実施
- ・下水道に特化した新聞や雑誌を発行している企業を訪問し、経営戦略(素案)を説明

成果

- ・経営戦略の素案が下水道新聞等へ掲載される予定
- ・国の勉強会(下水道における新たなPPP/PFI事業の促進に向けた検討会等)への参加(予定)
- ・新たな取組(50年間の長期財政シミュレーションや類似中核市等との意見交換会)への評価

今後の展開

- ・公営企業局が発行している「ていれぎ」への掲載予定
- ・各種人材育成への取組の公開 など



引き続き、費用対効果を最大限発揮するような広報活動を行う。

3) 今後の流れ(予定)

時 期	内 容	備 考
平成29年2月10日	第4回松山市下水道事業経営審議会	<u>答申(案)の提示</u>
平成29年2月中旬 ～ 平成29年3月中旬	答申(案)の修正	<u>答申書(最終稿)は 各委員へ送付</u>
平成29年3月下旬	市長へ答申	<u>答申書(最終稿)は ホームページへ掲載</u>
平成29年3月末	松山市下水道事業経営戦略の公表 第4次松山市下水道整備基本構想の公表	議会や関係機関への報告 ホームページへ掲載